

瑞日の気候変動に係る

法制度・地方政府・会計基準への対応の比較研究会

テーマ スウェーデンの非営利・政策シンクタンク Institute for Security & Development Policy（以下 ISDP）との間で、初の取り組みである「気候変動研究会」（2021 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日）を共同研究として実施した。2021 年 9 月にはスウェーデンを訪問すると共に、“Renewable Energy and Climate Action : The Future of Japan and Sweden Cooperation” と題する報告書を発表した。

しかしながら、同研究会を通じスウェーデンと日本の専門知識と経験の格差を痛感し、中でもスウェーデンに於ける憲法上の明記規定（日本国憲法は欠如）及び各層への環境規定の浸透、モデル都市の在り方並びに地方政府と中央政府の役割、国際サステナビリティ基準（会計基準）の進展など全般にわたり日瑞間の対応と理解の差を深く認識した。

本研究会は瑞政府、地方自治体と大学他の研究機関からそれらの対応を学び、彼我の差を理解しつつ、これを埋め、日本国内（一部は瑞にも）の政策、研究と地方自治体の事業の実施に関して提言ないし示唆するものである。

研究の背景 近年、地球温暖化は当初 IPCC が予測した以上の速さで進行し、今世紀末までの目標値である産業革命以前に比較し 1.5℃以内に留めることは不可能と思われる。その間、大気中の二酸化炭素の排出に止まらず、海洋の水温上昇及び二酸化炭素の吸収の限界、熱帯林の減少、寒帯林の伐採、永久凍土の喪失が継続し、更に石油/天然ガスの採掘場からメタンの排出も継続している。

この様な中で開発に従事する企業を有する日本とスウェーデンがこれらの問題に如何に取り組むか、特に日本がスウェーデンから憲法など法制度、地方政府の機能と取組、国際サステナビリティ基準への企業の対応について習得し如

研究の背景	何にそれを実践し、地球全体の気候変動問題への解決に繋げるか以下の点に焦点を当てて引き続き共同研究を実施した。 A) 環境に関するスウェーデン憲法と日本国憲法の比較 a) スウェーデン憲法： 環境に関する規定が明示、環境保護法集大成コードを制定地方自治体の環境促進義務を規定 b) 日本国憲法： 環境保護を促進する規定なし。日本国憲法と環境基本法、水質汚濁防止法など B) 気候変動対策のモデル都市（スウェーデン）の選定 例) Vallentuna： 中央政府から独立した環境保護及び産業誘致政策、排水処理法と独自の徴税システムを有する C) 国際サステナビリティ基準に対するスウェーデン企業と日本企業の対応の研究 a) 2023年6月に発表された国際サステナビリティ基準のS1（サステナビリティ関連財務情報の開示に関する全般的な要求事項）とS2（気候関連開示）に対するスウェーデン企業と日本企業の対応上の一般的課題 b) 対応事例の研究。例えば、Volvo Group、伊藤園等の具体的対応状況と課題
研究結果の概要	環境、地球温暖化と気候変動に関する解決策を探る瑞日の協力プロジェクトであり、 1) 憲法と環境法の瑞日の法制度の比較研究 2) 環境政策と環境事業に政策立案と実施に関する中央政府と州と地方自治体の比較 3) CSRD 他国際持続的会計報告・指令に関するスウェーデンでの実施状況と日本との比較 が本研究の3つの柱であり、第1年目はそれぞれについて、

研究結果の概要 瑞の関係機関から学び一定の学習効果を上げている。

2024年5月と9月には日本のメンバーで構成される一行がスウェーデンの中央政府（環境保護庁、化学庁）と環境政策と環境法・コードについて大学を訪問し、多くの法体系と環境法・環境コードについて具体的な教示を得た。

バレンツーナ市と市関連の廃棄物・水処理施設など環境行政の実施状況を視察した。

また、WEB会合により環境法制度、日本の環境法制度とCSRD他国際持続的会計についても講演会を開催した。

第2年目の2025年5月に再度日本のミッションがスウェーデンを訪問し、上記の1)、2)と3)につき、土地環境裁判所と北部Lulea市とGothenburg市を対象に追加し調査・研究を進める。2026年2～3月に瑞日のメンバーらによるWEBでのシンポジウムを開催し発表（予定）する。

期 間 2024年4月1日～2026年3月31日

研究会の開催年月日と各回のテーマ

2024 年

- 4月16日（火） メンバー全員による2年間の研究予定の策定
- 5月27日～31日 スウェーデン出張
- 5月27日（月） 1) Stockholm University 訪問
 Prof. Ranjula Bali Swain 等との面談
 2) ISDP Swanstrom 所長との昼食
 3) Mahvie Minerals AB 視察
- 5月28日（火） 1) University of Gothenburg 訪問
 1. 経営学部
 Dr. Lana Sabelfeld 他との面談
 2. 法学部
 Dr. Claes Martinson 他との面談
 2) MEVA Energy 訪問
 Dr. Cleas Grill との面談
- 5月29日（水） Stockholm Exergi 訪問
 Mr. Erik Dahlen 等との面談
- 5月30日（木） 1) Vallentuna 市庁訪問
 2) Wetland Park 訪問
 3) Sorab（廃棄物処理・販売・リサイクル会社）訪問
- 5月31日（金） 1) Norrvatten（浄水場）訪問
 2) Käppala（排水処理場）訪問
- 8月21日（水） 「スウェーデン憲法と環境コードに関する講演」
 講師：Prof. Lena Gipperth, University of Gothenburg
- 9月16日～20日 スウェーデン出張
- 9月16日（月） 1) ISDP ボードメンバーとの面談
 2) 外務省訪問
 Climate Ambassador Mattias Frumerie との面談

-
- 9月17日（火） 1) Vallentuna 市庁訪問
Mayor Johan Skog 等との面談
2) Uppsala University 訪問
Prof. Ashok Swain との面談
- 9月18日（水） 1) Environmental Agency 訪問
Dr. Hanna Roos 等との面談
2) Chemical Agency 訪問
Dr. Emma Swedberg Wikstad 等との面談
3) 日本大使公邸での夕食
- 9月19日（木） Gothenburg University 訪問
1) Dr. Lana Sabelfeld 等との面談
2) Dr. Lena Gipperth 等との面談
- 9月20日（金） 1) Renova（廃棄物処理）施設視察
2) Gothenburg County 訪問
Mr. Sten Folgfors との面談
- 11月29日（金） 「日本の環境法」に関する講演会
講師：大塚教授/早稲田大学
- 2025年
- 1月24日（金） 「CSR D とその中小企業に対する影響」講演会
講師：Dr. Lana Sabelfeld, University of Gothenburg
Dr. Marita Blomkvist, 同上
- 3月17日（月） 「CSR D と水に関する報告、大企業の対応」講演会
講師：Dr. Lana Sabelfeld, University of Gothenburg
Dr. Conny Overland, 同上

-
- 4月11日（金） 「国際法・EU法と環境法との関係」講演会
国際法、EU法とスウェーデンへの影響
Prof. David Langlet, Uppsala University
環境法、憲法と環境コード
Prof. Jonas Ebbesson, Stockholm University
瑞憲法と環境コードの日本国憲法（環境条項がない）と環境
法体系への考察
KOMATSU Masayuki 博士
- 5月11日～21日 スウェーデン出張
- 5月12日（月） 1) EPA（環境保護庁）訪問、Ms. Elina Ibo 他と面談
2) Swedish Enterprise 訪問、Ms. Madeleine Svenberg と
面談
3) Land and Environment Court(土地・環境裁判所訪問)、
Anders Lillienau 判事、Bjorn Raftegard 判事と面談
- 5月13日（火） 1) Chemicals Agency（化学庁）訪問、Mr. Ulrike Frank
他と面談
2) Stockholm 市庁訪問、Ms. Anna Essehag 他と面談
- 5月14日（水） 1) Vallentuna 市庁訪問、Johan Skog 市長他と面談
2) 地方自治体による大規模災害管理に関する会合、ス
トックホルム広域圏消防団救急隊チーフ Mr. Markus
Gustavsson 他と会合
3) SORAB 食品廃棄物/プラスチック・リサイクリング施
設訪問、Ms. Jenny Griffin Lindahl と面談
- 5月15日（木） 1) ヨーテボリ大学でのサステナビリティ報告に関する
ワークショップ出席

-
- | | |
|----------|---|
| 5月15日（木） | 2) ヨーテボリ大学ビジネススクールで会合、Dr. Lana Sabelfeld と Dr. Marita Blomkvist と面談 |
| 5月16日（金） | 1) グーテンベルグ市庁訪問
2) Marieholm訪問、Mr. Bo von Bahr(サステナブル廃棄物・水担当マネージャー) と面談
3) Boras Energi Och Miljo 訪問、Mr. Rickard Olsson (バイオガス担当エンジニア) と面談 |
| 5月19日（月） | 1) W3Energy 訪問、Mr. Par Dunder, CEO と面談
2) SSAB Stockholm 訪問、Ms. Anna Viefhues (ESG 報告担当ディレクター) と面談
3) Byggforetagen Norrbotten 訪問、Mr. Erik Ranangen と面談 |
| 5月20日（火） | 1) Boden 市庁訪問、Ms. Elin Lindahl (環境戦略担当) と面談
2) リサイクルセンターとバイオガス施設訪問、Mr. Urban Jansson (開発エンジニア) と面談
3) Lulea 市庁訪問、Roger Tuomas 他と面談 |
| 5月21日（水） | 1) Kalix Sami Village in Sandra (サミの村) 訪問、Mr. Orjan Pekka、Mr. Dan Abrahamsson と面談 |

メンバー

小松 正之（主査）

一般財団法人鹿島平和研究所 客員研究員

一般社団法人生態系総合研究所 代表理事

公益財団法人アジア成長研究所 客員教授

東都中小オーナー協会 (TEOS) 理事長

平泉 信之

一般財団法人鹿島平和研究所 会長

株式会社アバンアソシエイツ 顧問

大塚 直

早稲田大学 法学学術院 教授

竇多 康弘

南山大学経済学部 教授

関山 健

京都大学大学院 教授

四方 立夫

一般財団法人鹿島平和研究所 客員研究員

三井物産株式会社 社友

Dr. Niklas Swanström

Executive Director, Institute for Security and Development Policy,
Stockholm

Dr. Jagannath P. Panda

Head, Stockholm Center for South Asian and Indo-Pacific Affairs
(SCSA-IPA) and Executive Editor for Institute for Security and
Development Policy, Stockholm

メンバー

Dr. Svetlana Sabelfeld

Senior Lecturer of School of Business, Economics and Law at
University of Gothenburg

Dr. Marita Blomkvist

Senior Lecturer of School of Business, Economics and Law at
University of Gothenburg